

## 会 議 結 果 報 告 書

会 議 名 称	政策会議	
日 時	平成 31 年 2 月 5 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 45 分	
場 所	3 A 会議室	
出席者	出 席	市長、宮村副市長、高村副市長、教育長、政策部長、市長公室長、財務部長、建設部長
	事務局	企画課長、課長代理(調整担当) 陪席：秘書課長

議題 1：桜土手古墳展示館の総合的な歴史博物館への移行について	
担当部課等	市民部生涯学習文化振興課
説明者	市民部専任参事、生涯学習文化振興課長、専任主幹(兼)課長代理(文化財・市史担当)
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>Q. 施設の改修費用はどのようなか。 A. 31 年度予算で約 630 万円、32 年度には 1,000 万円程度と考 えている。</p> <p>Q. 名称はどのように決定するのか。 A. 今後、検討したい。</p> <p>Q. 「中空土偶」はどのように取り扱うのか。 A. 「象徴展示」としての展示を考えている。</p> <p>Q. 対象の年代はどのように考えているか。 A. いろいろな資料を所蔵していることから、古代から現代ま で、例えば秦野の魅力である「丹沢」をテーマにした展示など も含め、地域の特性を生かした様々な展示をしていきたい。</p> <p>Q. 地下のミュージアムプロムナードを倉庫にするということ だが、湿気が多く、古文書の保管に適さないと思うがどうか。 A. 地下に置くものは限定し、古文書や大絵図などは 1 階に保 管することとしたい。</p> <p>Q. 観覧する人が回りやすいような展示方法はどうか。 A. できるだけ柔軟に対応していきたい。</p>
会議結果	原案了承

議題2：都市公園のうち借地している公園の今後の取扱いを定めることについて	
担当部課等	建設部建設総務課
説明者	建設部長、建設総務課長、課長代理（土木許認可担当）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. 借地料の対応はどのようなか。 A. それぞれ固定資産税を減免している。</p>
会議結果	原案了承

議題3：大根幼稚園と大根小学校の施設一体化の見直しについて	
担当部課等	教育部教育総務課
説明者	教育部長、教育総務課長、課長代理（庶務担当）
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>【説明】 資料に基づいて説明</p> <p>【質疑及び意見等】</p> <p>Q. あり方検討委員会では、どこまで示すこととするのか。 A. 公立の幼稚園及びこども園について、将来の施設統合やこども園化などについて検討したい。</p> <p>Q. 配置計画はどのようにするのか。 A. 現在の「公立幼稚園運営配置実施計画」では、1学年1クラスとなった場合などに統合や民営化といったことを前提としているが、一定の基準を作り、どのように配置していくかを個別具体的に検討していきたい。</p> <p>Q. 幼稚園の応募状況はどうか。 A. 現時点で、無償化の明らかな影響は見えていないが、本年秋の園児募集の時期には影響が出てくると思う。</p>
会議結果	原案了承

議題4：秦野市立中学校給食事業の基本的事項に係る方針決定について	
議題5：曾屋庁舎用地の活用について	
担当部課等	教育部学校教育課、上下水道局経営総務課
説明者	教育部長、学校教育課長、上下水道局長、経営総務課長
提案理由	付議事案書「目的・必要性」のとおり
決定等を要する事項	付議事案書「決定等を要する事項」のとおり
会議経過 (説明・意見等)	<p>(関連があるため、一括して議題とした。)</p> <p><b>【説明】</b> 資料に基づいて説明</p> <p><b>【質疑及び意見等】</b></p> <p>Q. 事業用地の借地料は試算の中に入っていないか。 A. いずれにしても必要となる経費であり、入れていない。</p> <p>Q. コンテナを廊下に置く際、避難経路として問題がないよう、また、エレベーターが学校の防火基準に適合するよう、よく検討してほしい。また、5月に実施方針を決定し、7月に募集となると要求水準書の作成など、時間がタイトだがどうか。 A. 発注方法としては、機能水準を示す仕様書のような形式を考えており、できるだけ時間を短縮したい。</p> <p>Q. 設計・施工に22か月となっているが、建築確認や適合性判定等の手続きのほか、資材不足や人手不足、保健所の検査などもあり、難しいと思うがどうか。 A. 先行自治体の例から、できるだけ短縮できるように考えているが、非常に厳しいのは確かである。民間の工夫で経費や工期が圧縮できることを期待している。ただし、教職員から、年度途中にカリキュラムが変更されることへの懸念も示されており、よく精査したい。</p> <p>Q. 33年度に水道料金を8%引き上げる計画とのことだが、借地料収入との関係はどのようなか。 A. 売却とした場合、その損失分を改定率に上乗せするののかという議論が出てくる。そのため、貸付として賃料を内部留保することで損失を埋めることとしたい。</p>
会議結果	原案了承

—以上—